

2014年3月期 第2四半期 決算説明資料



兼松株式会社

KANEMATSU CORPORATION

2013年11月7日

本説明会・資料における当社グループの今後の計画・見通し・戦略等、将来に関する記載は、当社が現時点において把握可能な情報をもとに判断したものであり、これらは様々なリスクや不確実性が内在しております。

従って、経営環境の変化、未知のリスクの顕在化、およびその他様々な要因により、実際の業績等の結果は大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

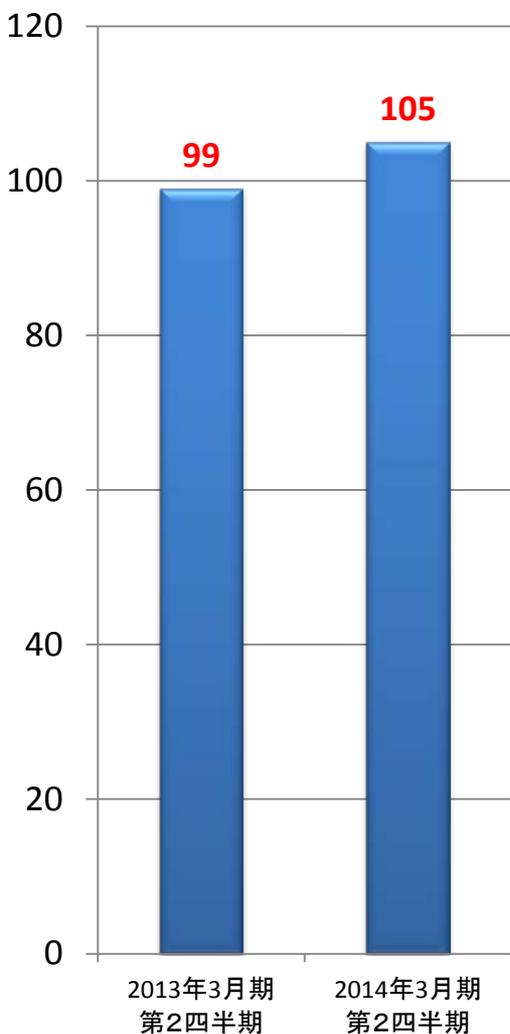
1.	2014年3月期第2四半期 決算概要	・・・	3
2.	2014年3月期 通期見通し	・・・	14
3.	Appendix	・・・	21

1

2014年3月期第2四半期 決算概要

2014年3月期第2四半期 決算概要(P/L)

営業利益: 億円

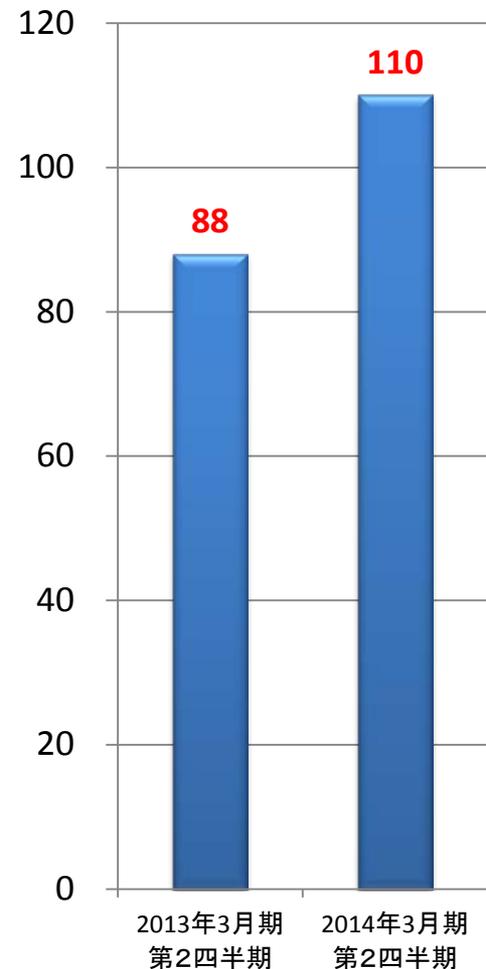


(億円)	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	4,872	5,376	504	10%
売上総利益	400	430	31	8%
販管費	301	325	24	8%
うち、人件費	165	187	22	13%
うち、物件費他	136	139	3	2%
営業利益	99	105	6	6%

- 売上高は、前期に行った買収効果等もあり、前年同期比増収。
- 売上総利益、営業利益も前年同期比増益。

2014年3月期第2四半期 決算概要 (P/L)

経常利益：億円



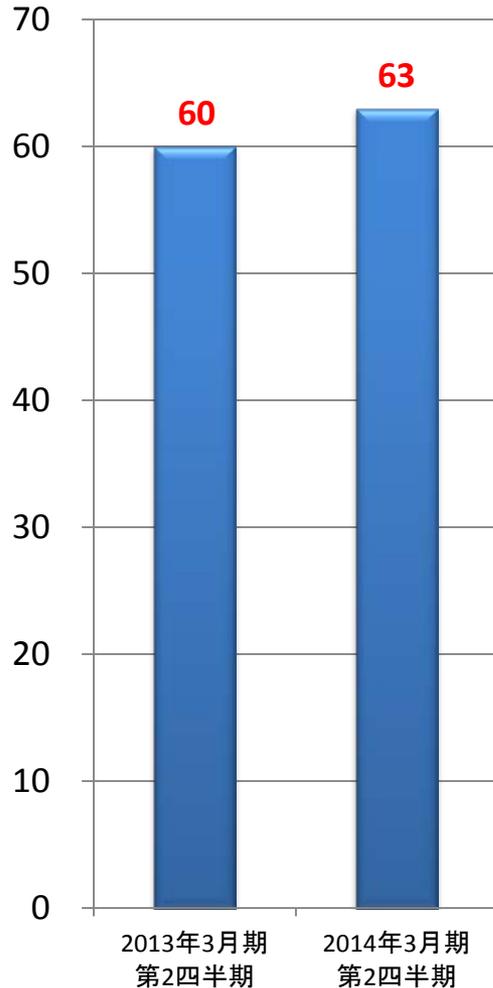
(億円)	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	増減率
営業外収支	-11	4	15	-
金融収支	-11	-9	2	-
うち、受取配当金	5	6	1	21%
うち、受取利息	2	2	-1	-26%
うち、支払利息	-18	-17	2	-
持分法損益	-0	1	1	-
為替差損益	2	14	12	-
その他営業外収支	-2	-2	-0	-
経常利益	88	110	22	25%

(※) 基礎的収益力 = 営業利益 + 貸倒引当金繰入額 + 受取配当金 + 金利収支 + 持分法損益

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	増減率
基礎的収益力(※)	89	98	9	10%

■ 営業利益の増益に加え、為替差損益の良化等により、営業外収支が良化し、経常増益。

四半期純利益: 億円



(億円)	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	増減率
特別損益	8	-3	-10	-
うち、特別利益	25	2	-23	-
うち、特別損失	-17	-5	13	-
税引前利益	96	107	11	12%
法人税等	-27	-31	-4	-
少数株主利益	-8	-12	-4	-
四半期純利益	60	63	3	5%

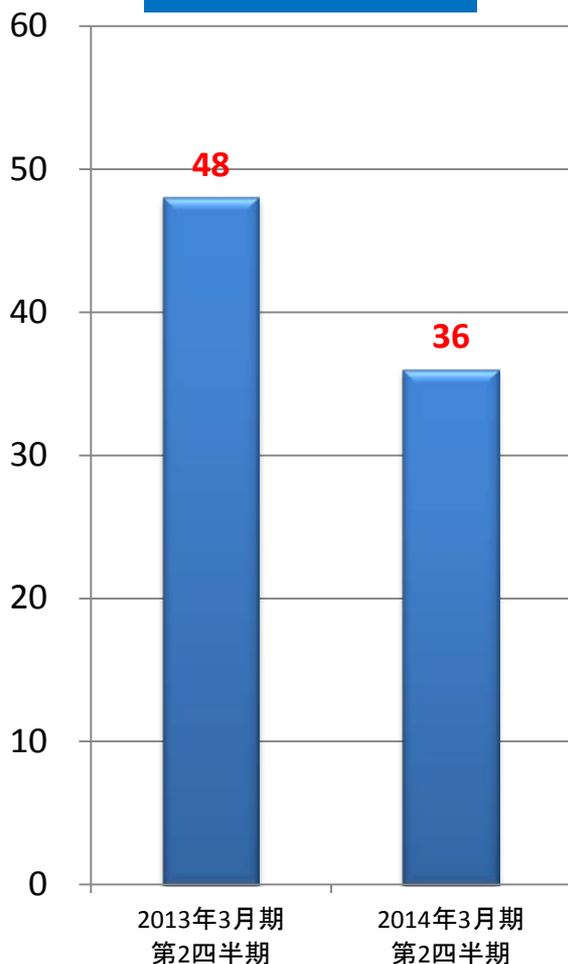
- 特別損益は、関係会社整理損などの計上により、3億円の損失。
- 四半期純利益は増益となり、期初公表の通期見し60億円を上回る。

2014年3月期第2四半期決算概要 (セグメント別実績)

(億円)	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高 (外部売上高)	4,872	5,376	504	10%
電子・デバイス	1,141	1,263	122	11%
食料	1,426	1,567	140	10%
鉄鋼・素材・プラント	2,020	2,220	201	10%
車両・航空	233	290	57	24%
その他(含む調整額)	52	36	-16	-31%
営業利益	99	105	6	6%
電子・デバイス	48	36	-12	-25%
食料	18	15	-2	-12%
鉄鋼・素材・プラント	23	39	16	70%
車両・航空	9	12	3	39%
その他(含む調整額)	2	3	1	32%

2014年3月期第2四半期実績(電子・デバイス)

営業利益: 億円



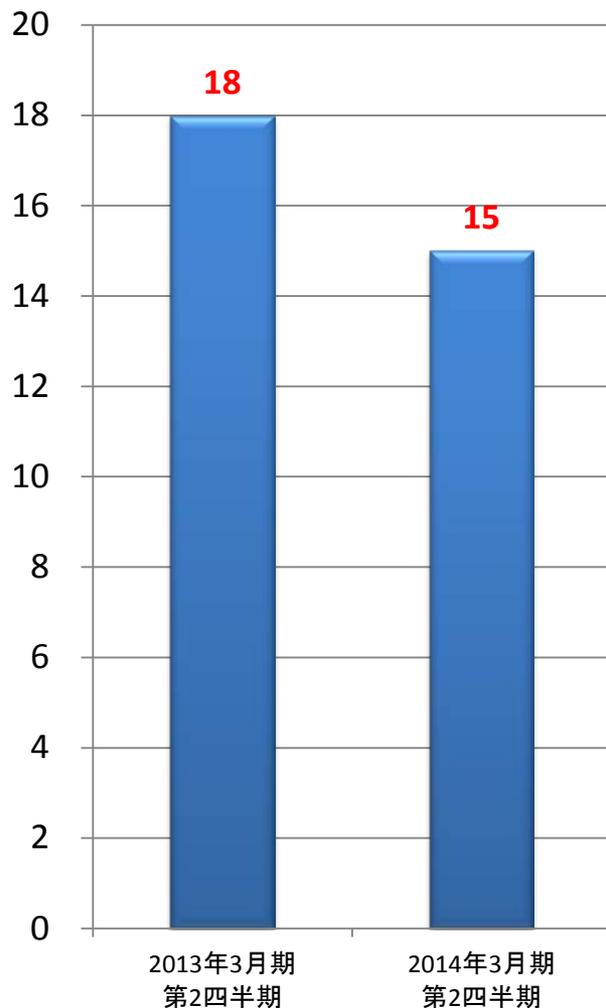
(億円)	2013/3 2Q実績	2014/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	1,141	1,263	122	11%
売上総利益	199	208	10	5%
営業利益	48	36	-12	-25%

2014年3月期 第2四半期実績のポイント

- 電子部品・材料事業は、国内外の需要伸長に伴い堅調に推移。
- 半導体製造装置事業は、対象企業の設備投資が停滞しており、低調に推移。
- 前期好調だったモバイル事業は、携帯電話事業者間の競争激化の影響を受け減益。

2014年3月期第2四半期実績(食料)

営業利益: 億円



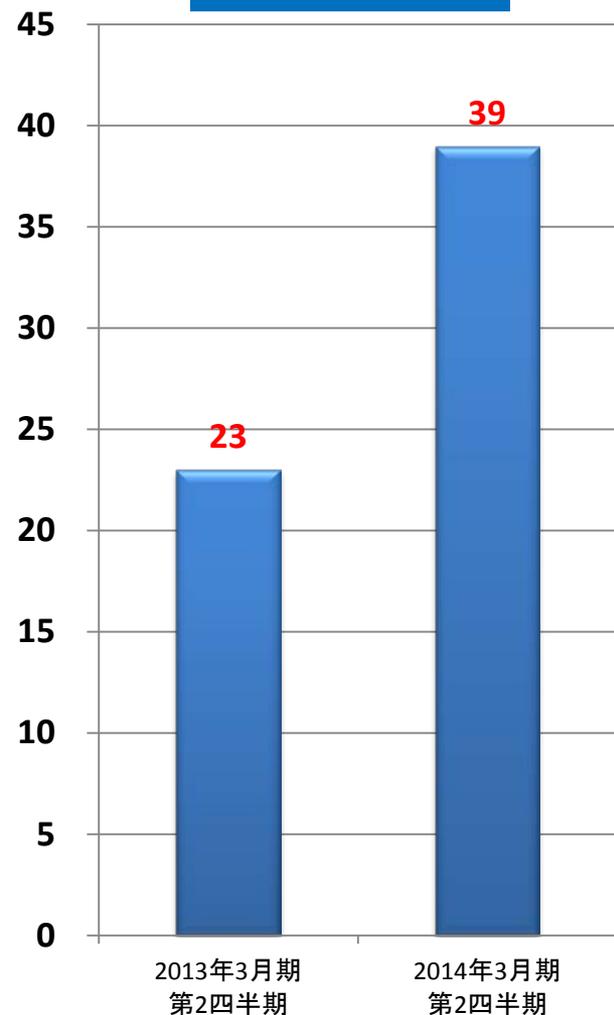
(億円)	2013/3 2Q実績	2014/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	1,426	1,567	140	10%
売上総利益	62	62	0	1%
営業利益	18	15	-2	-12%

2014年3月期 第2四半期実績のポイント

- 食品事業および畜産事業は、円安の環境下、販売価格への転嫁に時間を要し、低調に推移。
- 食糧事業は、安定的な調達の実現や取扱高の増加により、堅調に推移。

2014年3月期第2四半期実績(鉄鋼・素材・プラント)

営業利益: 億円



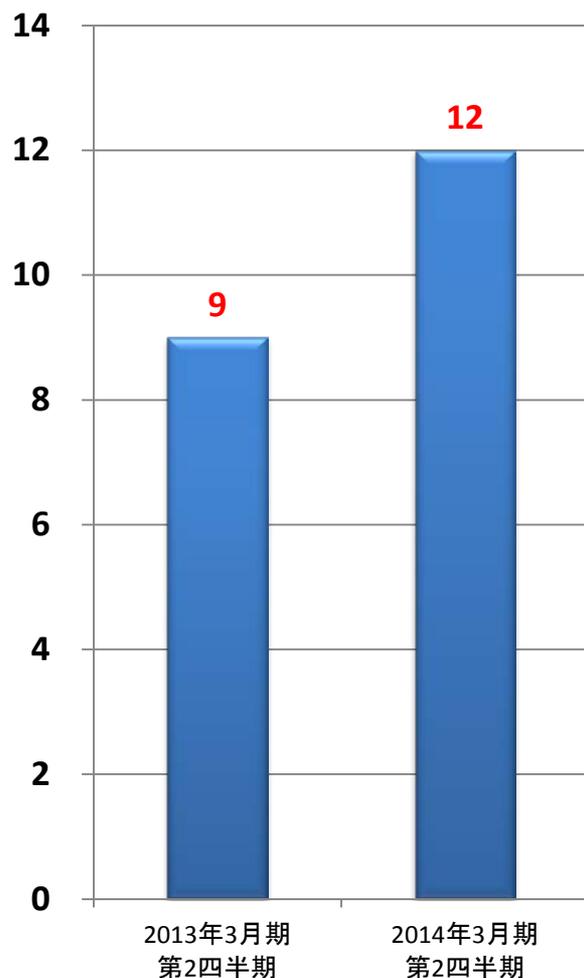
(億円)	2013/3 2Q実績	2014/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	2,020	2,220	201	10%
売上総利益	100	117	17	17%
営業利益	23	39	16	70%

2014年3月期 第2四半期実績のポイント

- 鉄鋼事業は、欧米向けの自動車用特殊鋼取引や、前期に買収した北米での油井管加工事業が堅調に推移。
- エネルギー事業は、重油販売が好調に推移し、化学品事業は、医薬品原料の輸入取引を中心に順調に推移。
- プラント事業は、工作機械・産業機械関連取引が低調に推移。

2014年3月期第2四半期実績(車両・航空)

営業利益: 億円



(億円)	2013/3 2Q実績	2014/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	233	290	57	24%
売上総利益	29	34	6	20%
営業利益	9	12	3	39%

2014年3月期 第2四半期実績のポイント

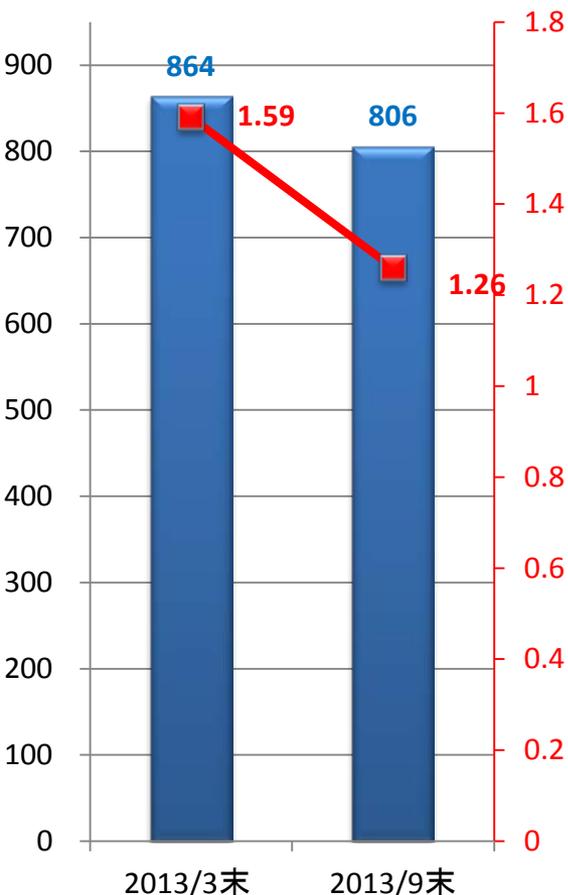
- 車両・車載部品事業は、北米向けの二輪車・四輪車用部品取引が堅調に推移。
- 航空宇宙事業は、国内の航空機部品取引が堅調に推移。

2014年3月期第2四半期決算概要 (B/S項目)

財務体質は着実に改善

ネット有利子負債: 億円

ネットDER: 倍



(億円)	2013/3末	2013/9末	増減額	増減率
総資産	3,992	3,981	-11	-0%
純資産	759	876	117	15%
自己資本 ^(注1)	545	639	93	17%
自己資本比率 ^(注2)	13.7%	16.0%	2.3pt改善	
グロス有利子負債	1,469	1,407	-62	-4%
ネット有利子負債	864	806	-59	-7%
ネットDER ^(注3)	1.59倍	1.26倍	0.33pt 改善	

注1: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分

注2: 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

注3: ネットDER = ネット有利子負債 / 自己資本

■ 有利子負債の減少、四半期純利益の積み上げ等による自己資本増加の結果、自己資本比率・ネットDERともに改善。

2014年3月期 年間配当金		
第2四半期末	期末(予想)	合計(予想)
1.50円	1.50円	3.00円

- 財務体質が改善するとともに、収益力も着実に向上。
- 業績の順調な進捗を踏まえ、当第2四半期末より復配。

2

2014年3月期 通期見通し

2014年3月期 通期見通し

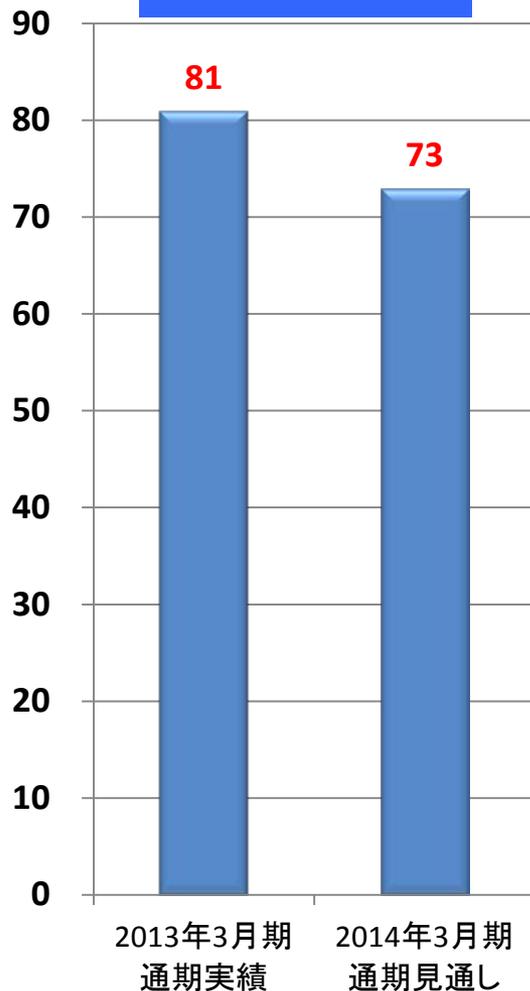
(億円)	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期見通し (11月1日修正)	増減額	増減率	(ご参考) 期初公表の 通期見通し
売上高	10,192	11,000	808	8%	10,500
営業利益	183	200	17	10%	190
経常利益	167	190	23	14%	170
当期純利益	96	90	-6	-6%	60

■ 第2四半期までの順調な進捗状況を踏まえ、通期業績見通しを上方修正。

2014年3月期 通期見通し(セグメント別見通し)

(億円)	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期見通し	増減額	増減率
売上高 (外部売上高)	10,192	11,000	808	8%
電子・デバイス	2,296	2,500	204	9%
食料	2,879	3,000	121	4%
鉄鋼・素材・プラント	4,380	4,900	520	12%
車両・航空	601	550	-51	-8%
その他(含む調整額)	37	50	13	35%
営業利益	183	200	17	10%
電子・デバイス	81	73	-8	-10%
食料	32	32	0	0%
鉄鋼・素材・プラント	53	75	22	41%
車両・航空	14	18	4	29%
その他(含む調整額)	2	3	1	25%

営業利益: 億円



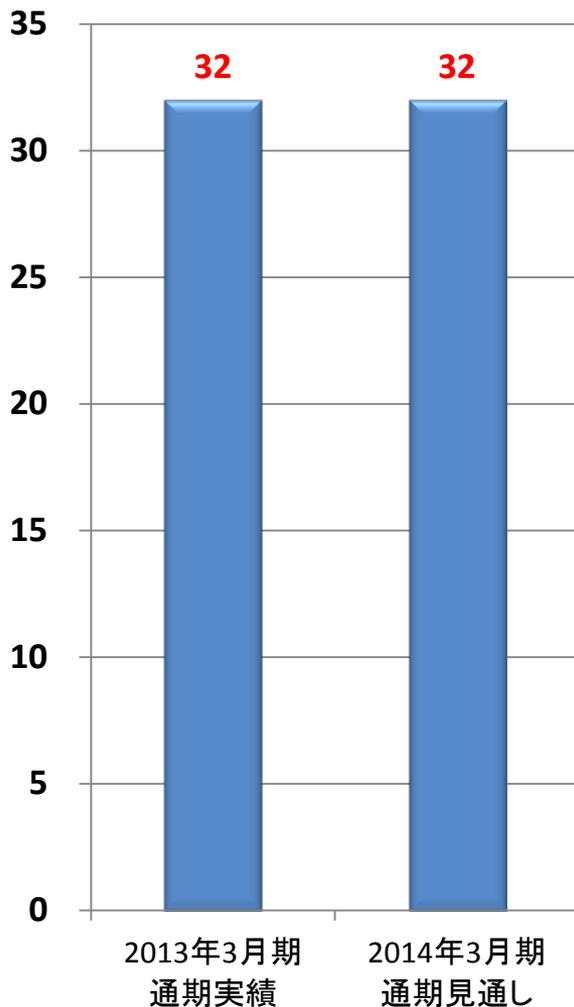
(億円)	2013/3	2014/3			
	通期実績	2Q実績	見通し	通期増減額	通期増減率
売上高	2,296	1,263	2,500	204	9%
売上総利益	392	208	414	22	6%
営業利益	81	36	73	-8	-10%

2014年3月期 通期見通しのポイント

- モバイル事業は、携帯電話事業者間の競争激化などにより、引き続き不透明な状況。
- 半導体部品・製造装置事業は、スマホ・タブレット端末等の好況を背景に、販売増加を目指す。

2014年3月期 通期見通し(食料)

営業利益：億円

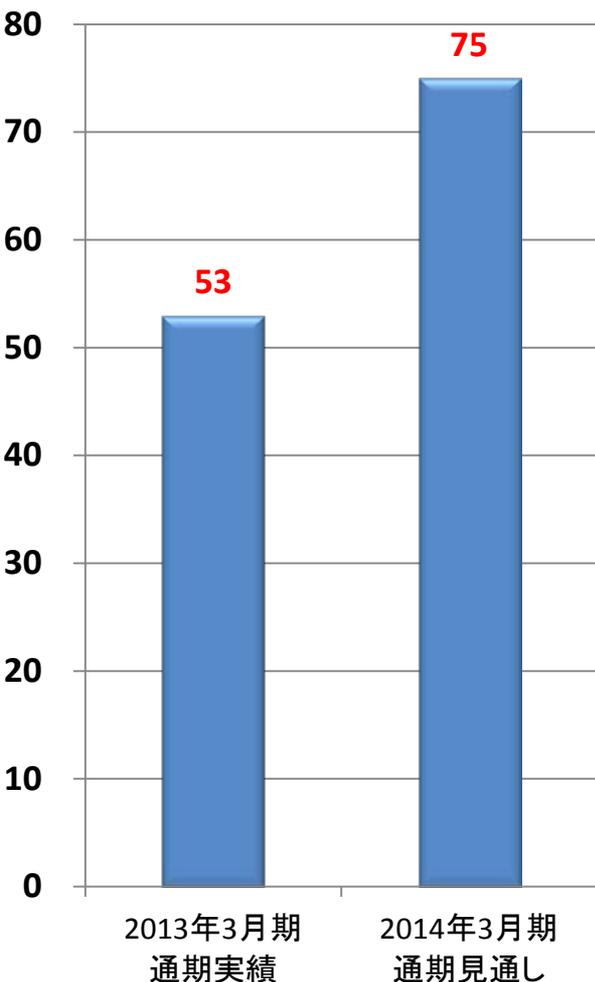


(億円)	2013/3	2014/3			
	通期実績	2Q実績	通期見通し	増減額	増減率
売上高	2,879	1,567	3,000	121	4%
売上総利益	121	62	127	6	5%
営業利益	32	15	32	0	0%

2014年3月期 通期見通しのポイント

- 食品事業は、円安の影響が一服し、収益圧迫要因は減少。国内外において加工・調理食品を中心に商材の安定供給と新規提案を通じ、取引拡大を図る。
- 食糧事業は、穀物の産地多角化による安定調達を継続し、収益確保を見込む。

営業利益: 億円

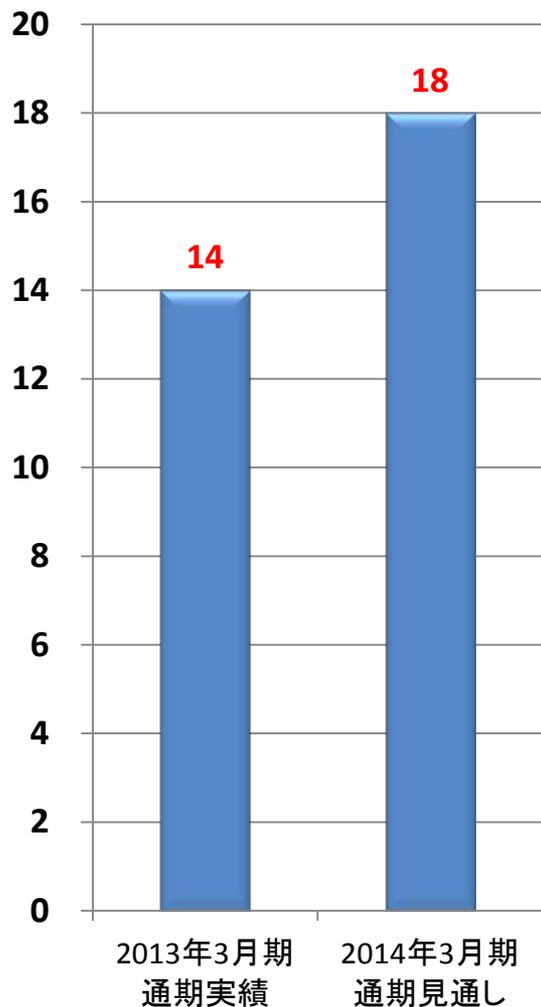


(億円)	2013/3	2014/3			
	通期 実績	2Q 実績	通期		
			見通し	増減額	増減率
売上高	4,380	2,220	4,900	520	12%
売上総利益	212	117	230	18	8%
営業利益	53	39	75	22	41%

2014年3月期 通期見通しのポイント

- 鉄鋼事業、エネルギー事業、化学品事業については、上期に引き続き順調な推移が見込まれる。
- プラント事業は、国内景気回復傾向から、工作機械・産業機械の需要も回復に向かう見込み。

営業利益: 億円



(億円)	2013/3	2014/3			
	通期実績	2Q実績	通期見通し	増減額	増減率
売上高	601	290	550	-51	-8%
売上総利益	61	34	62	1	2%
営業利益	14	12	18	4	29%

2014年3月期 通期見通しのポイント

- 欧米向け二輪車・四輪車用部品取引は引き続き堅調に推移する見込み。
- 新興国市場への事業展開を図り、新規事業を創出。



兼松グループの事業概要

事業セグメント	主要な事業	主要取扱商品	主要グループ会社
電子・デバイス	半導体部品・装置	半導体・電子部品、電子モジュール・部材、半導体・液晶装置	兼松エレクトロニクス 兼松コミュニケーションズ 日本オフィス・システム
	電子機器・電子材料	プリンタ関連機器、電子モジュール	
	ICT・モバイル	システムソリューション、通信機器・部品 携帯通信端末、モバイルコンテンツ、モバイル広告	
食料	食品	缶詰・冷凍・ドライフルーツ、果汁、ワイン、コーヒー、ココア、砂糖、胡麻、落花生、雑豆、蜂産品、ナッツ、種実類、油脂、乳製品、加工食品	兼松新東亜食品 兼松アグリテック 兼松ソイテック
	畜水産	畜産物、水産物	
	穀物・飼肥料・ペット用製品	小麦、大麦、米、大豆、加工食品、飼料、肥料、ペットフード、ペット用品	
鉄鋼・素材 ・プラント	鉄鋼貿易	各種処理鋼板、シームレスパイプ	SSOT 兼松トレーディング 兼松ペトロ 兼松ケミカル 兼松ウェルネス 兼松ケージーケイ
	特殊鋼貿易	ステンレス、特殊鋼線材・条鋼	
	国内鉄鋼・鉄鋼原料	鉄鋼製品全般、鉄鉱石、コークス	
	原油・石油製品・ガス	原油、石油製品、LPG、排出権取引	
	機能性化学品、ライフサイエンス	リチウム電池原料、太陽電池関連部材、石油化学製品、医薬品、医薬中間体、機能性食品素材、栄養補助食品	
	プラント・船舶	各種プラント、通信案件、ODA案件、光ファイバー、電力プロジェクト、船舶、船舶用機材	
	工作機械・産業機械	工作機械、産業機械	
車両・航空	自動車関連	二輪車、四輪車、車載部品、鋳鍛造部品	兼松エアロスペース 新東亜交易
	航空宇宙	航空機、航空機部品、衛星関連	

関係会社および従業員の状況

1. 主要連結対象会社の売上高

(億円)	事業	持分比率	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額
兼松エレクトロニクス	ICTソリューション	58.28%	218	327	109
兼松コミュニケーションズ	モバイル	100%	576	596	20
兼松新東亜食品	食品・畜水産	100%	108	134	26
兼松アグリテック	飼料酪農	100%	56	72	16
兼松トレーディング	国内鉄鋼 鉄鋼原料	100%	199	198	-1
兼松ケージーケイ	工作機械 産業機械	97.90%	203	185	-18
兼松ペトロ	石油製品・ガス	100%	675	759	84
兼松ケミカル	機能性化学品	100%	85	92	7
新東亜交易	商社	100%	525	528	3
Kanematsu USA Inc.	海外現地法人	100%	403	502	100

2. 従業員の状況

(人)	2013年3月末	2013年9月末	増減
単体	782	815	33
連結子会社	4,740	4,960	220
合計	5,522	5,775	253

※従業員は就業人員数

(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む)

関係会社の状況

1. 連結会社の黒字・赤字会社数推移状況

(単位:社)

(社数)	2013年3月期 第2四半期					2014年3月期 第2四半期					前年同期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字会社	27	31	8	8	74	29	27	9	11	76	2
黒字比率	77%	74%	62%	62%	72%	76%	56%	69%	79%	67%	-5%
赤字会社	8	11	5	5	29	9	21	4	3	37	8
合計	35	42	13	13	103	38	48	13	14	113	10

2. 連結会社の黒字・赤字額推移状況 (連結調整を加味しない単純合算ベース)

(単位:億円)

(億円)	2013年3月期 第2四半期					2014年3月期 第2四半期					前年同期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字額	63	8	1	0	73	30	10	2	1	43	-31
赤字額	-6	-1	-1	-1	-9	-0	-3	-1	-0	-4	5
合計	57	7	1	-1	64	30	7	0	1	39	-26

3カ年推移イメージ(収益・財務指標)

<収益>

(単位:億円)

	2013年3月期	中期経営計画			2013年3月期比	
		2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	増減	増減率
売上高	10,192	10,500	11,000	11,500	1,308	12.8%
売上総利益	800	840	880	920	120	15.0%
営業利益	183	190	205	220	37	20.5%
経常利益	167	170	190	200	33	19.7%
当期純利益	96	60	80	100	4	4.6%

<財務指標>

(単位:億円)

	2013年3月末	中期経営計画			2013年3月末比	
		2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	増減	増減率
総資産	3,992	4,190	4,270	4,440	448	11.2%
自己資本	545	603	670	749	204	37.4%
自己資本比率(%)	13.7	14.4	15.7	16.9	3.2pt改善	—
グロス有利子負債	1,469	1,469	1,469	1,469	0	0.0%
グロスDER(倍)	2.7	2.4	2.2	2.0	0.7pt改善	—
ネット有利子負債	864	810	760	710	△ 154	-17.9%
ネットDER(倍)	1.6	1.3	1.1	1.0	0.6pt改善	—

3カ年推移イメージ(セグメント別収益)

＜売上高＞ * 外部顧客に対する売上高

(単位: 億円)

	2013年3月期	中期経営計画			2013年3月期比	
		2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	増減	増減率
食料	2,879	3,200	3,400	3,700	821	28.5%
電子・デバイス	2,296	2,300	2,450	2,520	224	9.8%
車両・航空	601	600	630	660	59	9.8%
鉄鋼・素材・プラント	4,380	4,380	4,500	4,600	220	5.0%
その他	37	20	20	20	△ 17	—
合計	10,192	10,500	11,000	11,500	1,308	12.8%

＜営業利益＞

(単位: 億円)

	2013年3月期	中期経営計画			2013年3月期比	
		2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	増減	増減率
食料	32	40	45	50	18	56.3%
電子・デバイス	81	75	75	80	△ 1	-1.2%
車両・航空	14	10	15	15	1	7.1%
鉄鋼・素材・プラント	53	65	70	75	22	41.5%
その他・消去	2	0	0	0	△ 2	—
合計	183	190	205	220	37	20.5%



《memo》



兼松株式会社
KANEMATSU CORPORATION